

# MIUSEの仮公開と今後の展開

Mie University Scholarly E-collections  
三重大学 学術機関リポジトリ 研究教育成果コレクション



平成18年11月16-17日

日本の機関リポジトリの今2006（千葉大）  
ポスターセッション・ダイジェスト

三重大学 学術情報部 情報図書館チーム  
情報リテラシー担当  
杉田いづみ

<http://miuse.mie-u.ac.jp/>  
<http://lib.mie-u.ac.jp/>

# 1. MIUSE について ①

## ▶ 名称について:

- 「三重大学 学術機関リポジトリ 研究教育成果コレクション」です。
- 学術審議会「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」(2006.3)に、「機関リポジトリ」が出てくる。
- “Repository”には、深い理念が込められている。
- リポジトリは入れたい、でも、意味が分かりにくい。
- 苦肉の策として、てんこ盛り。

## ▶ 愛称について:

- **MIUSE**: **M**ie **U**niversity **S**cholarly **E**-collections
- ミューズと呼んでください。
- 学問・芸術の9人の女神Museを意識しています。
- スペルミスではありません。

目指しているのは、  
これです。

MIUSE 検索



# 1. MIUSE について ②

## ▶ ロゴについて:

- 大切なシンボルなので、こだわりました。



Plan A



Plan B



Plan C

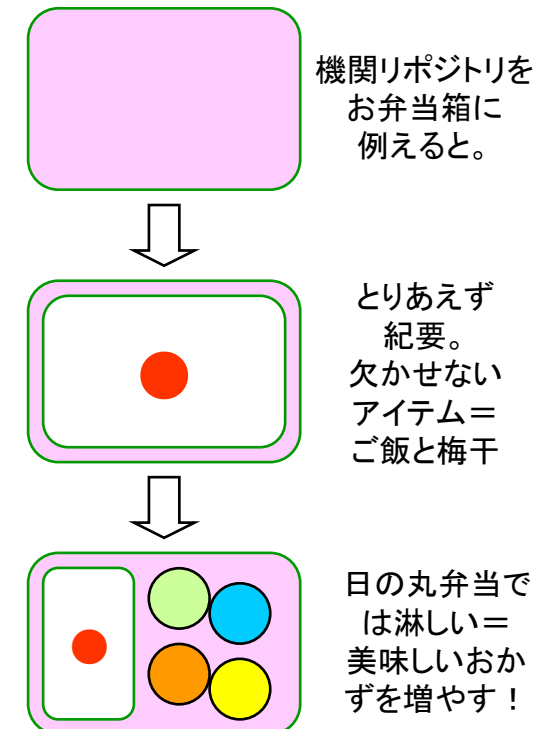


- 三重大大学のアクティビティを、躍動感あふれる人のイメージで表現！
- 三重大の研究教育成果を”**クロール**”します！

# 1. MIUSE について ③

## ▶ MIUSEの概要:

- システム: Dspace1.4。JuNii2に準拠。(北大の杉田氏に感謝!)
- コンテンツ: 2006年11月15日現在約500件、紀要(NIIさん提供)のみ。これからどんどん拡充を図ります。



## 2. MIUSE H18年度構築工程

▶ 仮公開！平成18年11月15日

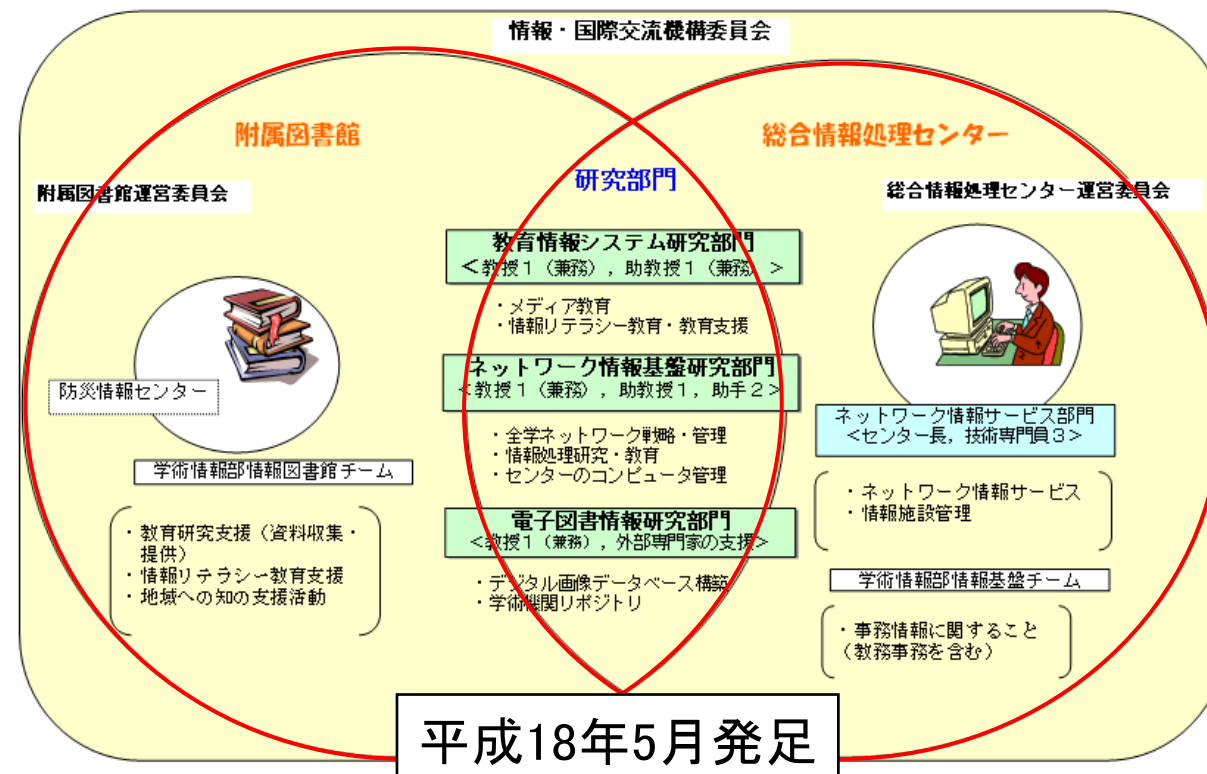
- 広報・システム構築・コンテンツ収集を同時平行で。

<div> <div>■ MIUSE 構築推進工程表:</div> <div>                     本システム(試行) 運用開始 2006/11/15                 </div> </div>								
		Sep-06	Oct-06	Nov-06	Dec-06	Jan-07	Feb-07	Mar-07
広報	学内合意形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部局連絡会 2006/09/07</li> <li>● 教育研究評議会 2006/09/20</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属図書館運営委員会 2006/10/27 ロゴ決定！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学部教授会における説明会実施 医:11/22、人・教・工・生:12/13</li> <li>● 学位論文:教務委員会と調整</li> <li>● 科研費報告:研究支援チームと調整</li> </ul>				● 次年度企画準備
	ホームページ、広報チラシ、クリアフォルダ等		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロゴデザイン発注/納品</li> <li>● チラシ発注/納品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DSpaceにデザイン 反映 2006/11/14</li> </ul>				
システム	システム(DSpace)機能拡張	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サーバ納品</li> <li>● DSpaceインストール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JuNii2フォーマット決定！</li> <li>● DSpace機能拡張仕様決定 (メタデータ・入力項目、 業績DBデータ受渡等)</li> <li>● 見積/発注</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● システム納品</li> <li>● 初期データ投入 2006/11/14</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データ一括投入</li> <li>● 業績DBへのデータ 受渡について検討</li> </ul>			→
	システム(領域2)開発 学習・教育支援のための統合的情報システム			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仕様決定(統合検索DB等)</li> <li>● 見積/発注</li> </ul>		● システム仮納品 2007/01/31	● テスト・調整	● システム納期 2007/03/31
コンテンツ	コンテンツ構築(個別)			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協力してくださる教員に個別交渉 理事・評議員、ポータルセンター、 附属図書館運営委員 ほか</li> </ul>				→
	コンテンツ構築(予備調査+著作権処理)		● ワークフローの検討	● 契約条件調整	● 契約			● ワークフロー確立
	コンテンツ構築(電子化+メタデータ作成)外注			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料電子化・ メタデータ入力仕様 に基づき、見積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料電子化・ メタデータ入力発注</li> </ul>			→
その他	出張/研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NII学術ポータル担当者研修 2006/08/30-9/1</li> <li>● 著作権研修(お茶大) 2006/09/29</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機関リポジトリ報告会(名大/ NII共催) 2006/11/08</li> <li>● ワークショップ(千葉大) 2006/11/16-17</li> </ul>			● DRFワークショップ (第2回?)	● ルンド大学 (スウェーデン)

### 3. MIUSE 推進体制 ①

#### ▶ 学術情報ポータルセンターの事業として構築・推進

- 情報・国際交流担当理事＝附属図書館長
- 電子図書情報研究部門を新たに設置



## 3. MIUSE 推進体制 ②

### ▶ 機関リポジトリWG

- 業務分担：WGで立ち上げ
- → ルーチンワークにしていけるように！

一機関では出来ないことが、たくさんあります。

- 総括：リーダー
- メタデータ、コンテンツ電子化、電子化コンテンツ収集：  
図書担当：1名、雑誌・電子情報担当：1名
- システム：  
サブリーダー、情報リテラシー担当：1名
- 全体の企画、広報、著作権処理：  
情報リテラシー担当：3名
- 細々した電子化・メタデータ入力作業：  
ILL担当：1名

情報共有・相互協力を、これからもお願いいたします！

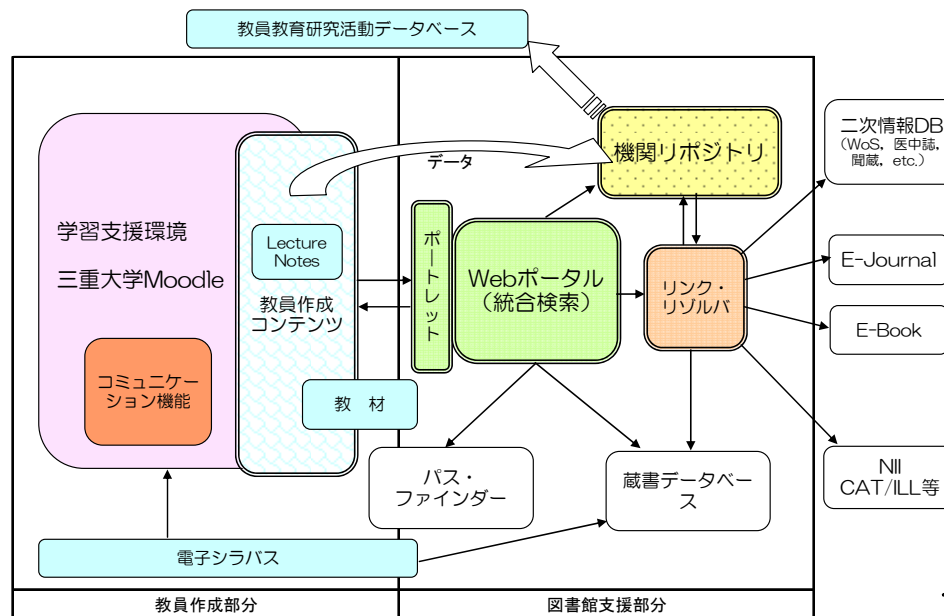
## 4. MIUSE 今後の開発予定

### ▶ 学習・教育支援のための統合的情報システム

- 統合検索機能(Webポータル)の開発
- ポートレット(検索窓)の実装

### ▶ 研究支援

- 機関リポジトリから、教員DBへのデータ提供機能開発



・育ち続けるMIUSE  
・自立できるMIUSE  
・…そして何よりも、  
・使われるMIUSE  
を目指していきます。